

商店街レポート(泉北・泉南地域)

商店街名	市	事業名	通し番号	ページ数
北助松商店街振興組合	泉大津市 高石市	地域と協働で行う商店街や地域資源の魅力発信!	R6-26	P1
北助松商店街振興組合	泉大津市 高石市	令和5年度 外部人材活用・地域人材育成事業の取り組みから 北助松商店街を中心とした地域活性化に関する5者連携協定へ	R6-27	P2
北助松商店街振興組合	泉大津市 高石市	空き店舗活用によるチャレンジショップやワークショップの実施& 商店街内外からのSNS発信強化	R6-39	P3
岸和田駅前通商店街 振興組合	岸和田市	商店街の魅力を伝える新拠点 くつろぎの空間「駅前CAFE わだてん」やeスポーツも楽しめる レンタルスペース「駅前e道場」の新たな集客拠点を創出	R6-02	P4
砂川駅前商店会	泉南市	デジタル対応への第一歩! ガイドマップとHPによる地域住民・観光客への魅力発信と商店会の結束強化	R6-28	P5

〈商店街名〉	〈商店街の基本情報〉	〈過去の商店街レポートURL〉
北助松商店街振興組合	所在地：泉大津市、高石市 最寄駅：南海本線北助松駅すぐ 店舗数：36店	大阪府／商店街の魅力 動画やイベントで知って (ndl.go.jp) (R5.11.14) 大阪府／商店街の魅力 地域とともに動画で発信〈モデル創出事業〉 (ndl.go.jp) (R5.3.1) ほか
〈事業名〉	〈過去の取り組み〉	〈過去の取り組み〉
地域と協働で行う商店街や地域資源の魅力発信！		■大阪府 令和4年度大阪府商店街等モデル創出普及事業 ■中小企業庁 令和5年度外部人材活用・地域人材育成事業 ■大阪府 令和6年度大阪府商店街等モデル創出普及事業
〈事業概要〉		
■助松神社や周辺スポット、泉大津市役所等と連携し、イラストマップとプロモーション動画を制作。商店街の魅力や地域の伝統文化、観光資源等を紙媒体とSNSやHPといったデジタル媒体で発信することで、集客力の向上を図った。その結果、SNSの登録数も増加し、地域に愛される商店街としての活動につながっている。		
〈課題・現状〉	〈取り組み内容〉	〈成果〉
①商店街の認知度向上を図りたい ・商店街の魅力を知ってほしい ・若い世代にも含めた幅広い世代に訴求したい	・若い世代も楽しめる プロモーション動画の制作・配信 商店街の「店舗」をはじめ、「助松神社」や「だんじり祭り」、「商店街イベント」などを紹介するプロモーション動画を制作。 ・商店街WebサイトのTOPページで配信し、テーマごとに分割した短編動画も制作。商店街のSNS等で発信した。	・動画は、YouTubeの公式商店街チャンネルで公開。 「北助松商店街PR動画」「スポットPR動画」「イベントPR動画」「お店PR動画」「だんじりPR動画」の5本を配信。これらの動画再生回数は、 合計で3,500回を超えている。 (R6.10月現在) ・その後R5年4月には、「北助松商店街魅力発見レポート」という取材番組風動画を4本制作、配信を行った。 再生回数合計は、1,000回を超えている。 (R6.10月現在)
②商店街と地域に愛着をもつ来街者を増やしたい ・商店街の集客力向上、来街者増加 ・商店街含む地域一体に愛着を抱くような訴求ツールを作りたい	・商店街だけではなく周辺地域の魅力スポット等の関係者や泉大津市役所とも協力し、地域での回遊を促す工夫として、 商店街と周辺スポットのイラストマップを作成。 ・マップには、商店街のゆるキャラや、今と昔の写真を掲載し、地域への愛着を持ちやすくした。また、 商店街のWebサイト及びLINE公式アカウントにリンクするQRコードを掲載し相乗効果を図った。	・イラストマップは、商店街恒例イベント「わいわいフェスタ」で配布を行い、南海北助松駅や泉大津市役所等にも配架した。 ・ マップを見ながら散策する人が増加し、一定の集客効果があった。 ・LINEアカウントにリンクするQRコードを掲載したことにより、LINEの友達登録数が増加。 友達数は1030人と現在も増加し続けている。 (R6.10現在)
〈商店街のコメント〉		
■イラストマップについては、商店街に親しみを感じてもらえるよう、商店街キャラクターである「きいすけ」とその妹「きっぴい」を積極的に活用しました。「きっぴい」は新たに作り、名前は地域住民からの公募で選びました。動画については、出演者や地域の皆さまからの反響が思いのほか大きく、さらなる活用の可能性を感じています。この令和4年度取組を通じ、地域とのつながりの重要性を改めて実感できたので、今後とも地域の皆さんとともに商店街・地域の活性化に取り組んでいくべく、令和5年度以降も様々な取り組みをしています。		
〈写真〉	〈連携・協力〉	
R4年度 商店街プロモーション動画作成 R4年度作成イラストマップ R6年度 イベントチラシ	■主催：北助松商店街振興組合 ■協力：助松神社、泉大津市役所、泉大津市教育委員会	
		〈HP・SNS等〉
		■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」 商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/kitasukematsu/ ■北助松商店街 公式HP https://www.kitasukematsu.com/ ■北助松商店街 YouTube 北助松商店街 - YouTube

〈商店街名〉	〈商店街の基本情報〉	〈過去の商店街レポートURL〉
北助松商店街振興組合	所在地：泉大津市、高石市 最寄駅：南海本線北助松駅すぐ 店舗数：36店	大阪府／国事業を活用し、商店街の魅力・価値向上をめざすワークショップを実施 (ndl.go.jp) (R5.11.29) 大阪府／商店街の魅力 動画やイベントで知って (ndl.go.jp)(R5.11.14)ほか
〈事業名〉	〈過去の取り組み〉	
令和5年度 外部人材活用・地域人材育成事業の取組みから 北助松商店街を中心とした地域活性化に関する5者連携協定へ	■大阪府 令和4年度大阪府商店街等モデル創出普及事業 ■中小企業庁 令和5年度外部人材活用・地域人材育成事業 ■大阪府 令和6年度大阪府商店街等モデル創出普及事業	
〈事業概要〉		
■地域の魅力と価値向上をめざす中、令和5年度外部人材活用・地域人材育成事業に採択され、地域や商店街が抱える課題を解決し、地域の魅力・価値向上を図り、持続可能な地域に変革するために、ワークショップ事務局が専門家の派遣及びワークショップを開催。今後の方向性を検討し、課題解決に必要なノウハウの指導、持続可能な地域となるための自立的・継続的な取組みを実施。 ■令和6年8月27日、同商店街は、大阪府泉大津市、阪南大学、独立行政法人都市再生機構西日本支社、高石市の5者による北助松商店街を中心とした地域活性化に関する連携協定を締結した。連携協定の締結により、5者それぞれの役割を補完しあい、北助松商店街を中心とする地域活性化にむけた取組が推進されるよう、連携協力体制を強固にして取組みを進めることとなった。		
〈課題・現状〉	〈取組み内容〉	〈成果〉
・商店街の活性化に向けて様々な取組を実施してきたが、空き店舗が増えるなどの課題がある。 ・地域の魅力と価値向上をめざしたい。 ・商店街だけではなく、 地域全体の活性化 を図りたい。 ・ 地域住民が集まれるフリースペース がほしい。 ・老若男女に利用され、にぎわいが創出される 時代に即した商店街 をめざしたい。 ・商店街が 今後めざすべき方向性 を、商店街だけではなく 地域の関係者と議論して考えていきたい 。	① 商店街の役割や発展の方向性について考えるワークショップの実施 ・中小企業庁の令和5年度外部人材活用・地域人材育成事業に応募し採択された。 ・商店街内部だけでなく第三者の地域活性化の専門家が入り、阪南大学、泉大津市、高石市も参加し、商店街の在り方について、参加者が商店街で実現したいことを付箋に書き出して話し合ったり、他商店街から講師を呼んで取組例を学ぶなど、議論を重ねた。 ・単にモノを売るだけではなく、地域とのつながりが感じられる場所として、老若男女に利用され、にぎわいが創出される時代に即した商店街づくりをめざし、コミュニティスペースや憩いの場の整備を行った。 ② 新たな市民団体「ぬのびきプロジェクト」の立ち上げ ・上記ワークショップのおかげで、令和6年4月には商店街のみならず、同エリアを中心に活性化を図ることを目的とした「ぬのびきプロジェクト」を立ち上げた。地域からの声を反映させながら、積極的な活動を推進中。	①ワークショップ実施により、課題であった「集える場所がほしい」という要望に応え、理事長の店舗前に ベンチを設置 し、地域住民が気軽にひと休みできる場となった。さらに、 店舗2階の物置をコミュニティスペースとしてリノベーションし、子育て世代の集いの場やワークショップが開催できるスペースとし活用 を始めている。 ②ワークショップの内容を基に、地元の助松神社を軸とし有志で立ち上げた「ぬのびきプロジェクト」により、毎月1日のお参りと商店街のイベントを掛け合わせた「 おついたちキャンペーン 」企画を実施。6月には、助松団地の集会施設を活用し、阪南大学と当商店街とのコラボイベントを開催し連携する取り組みも行っている。 こうした状況を踏まえ、 当エリアに関係が深い団体が、より連携を深め、同商店街エリアの活性化に向けた取組を推進していくため、協定締結に至った 。
〈商店街のコメント〉		
■「令和5年度外部人材活用・地域人材育成事業」の実例を学ぶ機会があったおかげで、さまざまな考えを知り刺激を受け、自分たちにもできると実感できたので、今現在も色々な課題を実践しています。 ■5者連携協定は、今まででも、商店街の地域活性化にむけたイベントやワークショップなどでご協力いただいていたましたが、5者による「北助松商店街を中心とした地域活性化に関する連携協定」が締結されたことによって、5者それぞれの強み、役割を補完しあい連携協力体制を強固にして今後も様々な取組みをすすめていきたいです。		
〈写真〉	〈連携・協力〉	
	■連携5者：北助松商店街振興組合、泉大津市、高石市、阪南大学、独立行政法人都市再生機構西日本支社	
	〈HP・SNS等〉	
	■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/kitasukematsu/ ■北助松商店街 公式HP https://www.kitasukematsu.com/ ■北助松商店街 Instagram https://www.instagram.com/kitasukematsu_shoutengai/	
R5年度 店舗前に設置したベンチ	R6年度5者連携協定	R6年度 協定書署名

〈商店街名〉	〈商店街の基本情報〉	〈過去の商店街レポートURL〉
北助松商店街振興組合	所在地：泉大津市、高石市 最寄駅：南海本線北助松駅すぐ 店舗数：36店	大阪府／国事業を活用し、商店街の魅力・価値向上をめざすワークショップを実施 (ndl.go.jp) (R5.11.29) 大阪府／商店街の魅力 動画やイベントで知って (ndl.go.jp) (R5.11.14)ほか
〈事業名〉	〈過去の取り組み〉	〈過去の取り組み〉
空き店舗活用によるチャレンジショップやワークショップの実施&商店街内外からのSNS発信強化	■ 大阪府 令和4年度大阪府商店街等モデル創出普及事業 ■ 中小企業庁 令和5年度外部人材活用・地域人材育成事業 ■ 大阪府 令和6年度大阪府商店街等モデル創出普及事業	
〈事業概要〉		
■「活動の場」や「魅力的な店舗」という地域ニーズに対応すべく、商店街内の空き店舗を利用し、チャレンジショップ・ワークショップの場を提供。また、来街者を増加させるために効果的なPRとして、商店街・店主のSNS活用スキルアップを図り、Instagramの公式アカウントの運用を約3か月にわたり、プロのサポートを受けながら一緒に作り込み、商店街の魅力やチャレンジショップ・ワークショップの取組内容などを広く発信した。リール動画の企画や編集方法等を随時商店街のメンバーが吸収し、次年度以降の自走体制に繋がった。		
〈課題・現状〉	〈取組み内容〉	〈成果〉
①空き店舗活用と地域ニーズへの対応 ・空き店舗に新規出店したい ・「活動の場」や「魅力的な店舗」という地域のニーズに何とか応えたい。 ・商店街に新しい来街者を呼び込みたい。	■ 空き店舗を利用しチャレンジショップ・ワークショップ実施 商店街が空き店舗を1日単位で借り上げ、チャレンジショップ・ワークショップ用スペースとして、SNSやチラシを通じ希望者に貸し出した。 ■ 貸店舗見学ツアー開催 地元の不動産会社の協力を得て、商店街界隈への出店に興味がある方向けの貸店舗見学ツアーを実施。参加者には市や商工会議所による創業・出店支援事業のチラシも配布した。	・ワークショップやチャレンジショップへの問合せは10件あり、親子向け体操教室によるワークショップ、ハンドメイド雑貨等の販売、英会話教室による子ども向け講座などが開催された。 ・すぐに出店に結び付くわけではないが、参加者からは今後の出店に前向きな意見が多く、今後も継続して取り組む予定。 ・空き店舗ツアーでは、初めての試みで参加者が少なかったのが課題。参加者を増やすためSNS等広報を見直していきたい。
②SNS発信強化で商店街の魅力や取組内容を知ってほしい ・SNSを使用しているが十分な運用ができていない。 ・理事長や役員が自己流で発信しているため、有効なノウハウを身に付けられず、新しい試みやPR活動が十分にできていない。	■ インフルエンサーによるInstagramワークショップを開催 Instagramでの効果的な発信方法をインフルエンサーから学ぶ講座を開催。SNSで商店街の魅力を伝える投稿を行うことを条件に、地域住民も無料で参加可能とし、30名が参加。 ■ 商店街公式Instagramの企画・運用レクチャー 約3か月間にわたり、SNS担当向けに、リール動画の企画・制作・編集、サムネイル画像の作成、投稿のスケジュール管理などのレクチャーを受け、見てもらえるアカウント作りの技術を取得。	・SNSワークショップ後は、参加者が商店街の魅力発信投稿を実施してくれた。 ・Instagramの企画・運用レクチャーでは、理事長等SNS担当がスキルを身に付けることができ、今後の自走体制ができた。 ・Instagramのフォロワー数は、341件から440件と増加。リール動画平均再生回数は、8月以前は平均250～300回だったが、8月以降は約880回となった。(R6年12月現在)
〈商店街のコメント〉		
■ Instagramの運用に関しては、理事長である私がメインで、動画の撮り方、編集方法、サムネイルの作り方、投稿の順番をスケジュール化するなど、投稿した写真や動画をいかに多くの人に伝えられるかのテクニカルなことを学びました。数字としても結果が明白だったため、この3か月の財産を広く商店街会員にも伝え、今後の投稿に活かしていきたいです。そして、引き続きワークショップや空き店舗対策についても、Instagramや他のSNSを利用して根気強くPRしていければと思います。貸店舗見学ツアーは、地域内外の方に見に来てもらい出店してもらうことが一番ですが、商店街会員にも幅広く周知し、移転や2店舗目、別事業への取り組みなどにも使える気がしました。人が集まれば何かが起こると考えていますので、今後もその仕組みを考えつつ、いろいろな施策にチャレンジしていきたいです。		
〈写真〉		〈連携・協力〉
 インフルエンサーによる講座	 子ども英会話クラブによるワークショップ  貸店舗ツアー	■主催：北助松商店街振興組合 ■協力：泉大津市、高石市、地元不動産業者 〈HP・SNS等〉 ■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/kitasukematsu/ ■北助松商店街 公式HP https://www.kitasukematsu.com/ ■北助松商店街 Instagram https://www.instagram.com/kitasukematsu_shoutengai/

〈商店街名〉	〈商店街の基本情報〉	〈過去の商店街レポートURL〉
岸和田駅前通商店街振興組合	所在地：岸和田市 最寄駅：南海本線 岸和田駅 店舗数：56店	・大阪府／だんじり消費の拡大へ、集客拠点を創出 (ndl.go.jp) (R6.3.8) ・大阪府／商店街でeスポーツ！体験会＆競技大会を開催＜モデル創出事業＞ (ndl.go.jp) (R3.11.8) ほか
〈事業名〉	〈過去の取り組み〉	
商店街の魅力を伝える新拠点 くつろぎの空間「駅前CAFE わだてん」やeスポーツも楽しめるレンタルスペース「駅前e道場」の新たな集客拠点を創出	■大阪府 令和3年度大阪府商店街等モデル創出普及事業 ■大阪府 令和4年度大阪府商店街等需要喚起緊急支援事業 ■中小企業庁 令和4年度補正予算 面的地域価値の向上・消費創出事業	
〈事業概要〉		
■地域の伝統文化である「岸和田だんじり祭」を地域資源として、だんじり商品の開発・販売や、だんじり商品のストア等の開設、商店街キャラクター事業、だんじり拠点施設との共同宣伝等の実施により、商店街内に新たな集客拠点を創出し、地域住民及び観光客の新たな消費を開拓。 ■eスポーツも楽しめるレンタルスペース「駅前e道場」の集客拠点としての活用。		
〈課題・現状〉	〈取組み内容〉	〈成果〉
①商店街内に新たな集客拠点を創出 ・空き店舗を再生したい。 ・岸和田エリアの活性化を目的に、地域の伝統文化である「岸和田だんじり祭」を地域資源として、地域住民・観光客の新たな消費を開拓したい。	・空き店舗を再生した建物を利用し、商店街の魅力を伝える新拠点「駅前CAFEわだてん」の整備。 ・大阪府立久米田高等学校の生徒らに依頼し、だんじりをシンボライズした 商店街オリジナルキャラクター「わだてん」 を作成。	・令和6年3月9日にオープン。 商店街でのくつろぎ空間となり、ふらっと寄ってもらえるカフェとなった。 ・商店街オリジナルグッズのトートバックも好評。その他、だんじり祭に関連しただんじりグッズも「駅前CAFEわだてん」で販売。書籍やだんじり文化を伝える展示も設置したことによって、来街者数が増加した。
②レンタルスペース「駅前e道場」の普及活動 ・商店街にある空き店舗の有効活用方法を検討し、令和3年に「駅前e道場」を設立した。 ・ゲーム以外にもリモートワークや会議など、さまざまな用途で利用可能なレンタルスペースになっており、活用を呼びかけたい。	・レンタルスペースでの利用促進を促す「名刺型QRコード入りカード」を作成し、 WebサイトやSNSで情報発信 。 ・商店街恒例行事「みんなDay参加！どんチャカフェスタ」で、 eスポーツ体験会と競技大会を開催 することによって「駅前e道場」のPRを実施。 ・イベントの様子はオンラインで配信。	・日本のeスポーツ界を牽引する民間企業も協力。有名な太鼓ゲームのトッププレイヤーをデモンストレーターに迎え、 小・中学生を中心におよそ350人が体験会に参加し、大盛況だった。 ・このイベントをきっかけに、レンタルスペースの認知度が上がった。
〈商店街のコメント〉		
■建物を空き店舗や更地にするのではなく、こうして商店街が活性化に取り組むことは、商店街のにぎわいの維持、空き店舗対策にもなっています。 だんじりを呼び水に、地域のにぎわいの拠点として、地域に根付き、20、30年後の将来に残せるものになってくれたらという思いで今後も取り組んでいきたい。		
〈写真〉	〈連携・協力〉	
 オリジナルキャラクター「わだてん」  くつろぎの空間「駅前CAFE わだてん」  レンタルスペース「駅前e道場」	■主催：岸和田駅前通商店街振興組合 ■キャラクターデザイン：大阪府立久米田高等学校 ■eスポーツ：(株)スサノオ	
〈HP・SNS等〉		
■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」 商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/kishiwadaekimae/ ■岸和田駅前通商店街 公式HP https://www.kishiwadashotengai.com/ ■岸和田駅前通商店街 Instagram https://www.instagram.com/kishiwadashotengai/		

〈商店街名〉	〈商店街の基本情報〉	〈過去の商店街レポートURL〉
砂川駅前商店会	所在地：泉南市 最寄駅：JR阪和線と泉砂川駅すぐ 店舗数：32店	大阪府／ガイドマップとHP、多言語展開で＜モデル創出事業＞(R6.2.27) 大阪府／地域の方や観光客に知ってもらうため、多言語エリアマップを制作＜モデル創出事業＞(R5.12.19)
〈事業名〉	〈過去の取り組み〉	
デジタル対応への第一歩！ ガイドマップとHPによる地域住民・観光客への魅力発信と商店会の結束強化	■大阪府 令和5年度大阪府商店街等モデル創出普及事業	

〈事業概要〉		
■周辺地域の宅地開発等により新規移住者が増加しており、また関西国際空港からのアクセスも良く、藤の花の名所や旧熊野街道をはじめとする観光スポットが近隣に集まっている現状を踏まえ、新たな生活者や観光客に向けた情報発信を図るため、泉南地域と商店会の魅力を集約した2か国語対応の「砂川駅前商店会ガイドマップ」を制作し、配架した。また、ガイドマップ制作と連携して、商店会の店舗紹介やイベント情報を発信する砂川駅前商店会ポータルサイトを制作し、魅力発信に取り組むとともに、6か国語の翻訳機能でインバウンド客にもPRした。		
〈課題・現状〉	〈取り組み内容〉	〈成果〉
①商店会の認知向上 ・広域に向けて商店会の認知拡大を図りたい。 ・周辺地域の宅地開発等により新規移住者が増加している現状を踏まえ、新規移住者向けに商店会の魅力を発信したい。 ・関西国際空港からのアクセスも良いため、インバウンド対策を取り入れたい。	■「砂川駅前商店会ガイドマップ」の制作、配架 ・商店会の店舗情報や泉南地域の観光情報を、イラストや写真、マップで紹介。携帯しやすいA4三つ折り仕様で制作した。 ・インバウンド対策として、 日英の2か国語 に対応。各店舗情報の横にQRコードを載せ、ポータルサイトへ直接アクセスができるよう工夫。 ・JR和泉砂川駅、観光協会、泉南市などの協力のもと、 公共施設や会員店舗に配架した。	・ガイドマップを公共施設や会員店舗に配架したことで、来街促進につながり、周辺地域からの来街を促しつつ、 商店街内を回遊してもらうような動線を作ることができた。 ・店舗や近隣住民からは「良いものができた」と高評価を得た。 ・R6年4月の藤まつりには多くの方が来街し、マップを通じてインバウンド客や若者を呼び込むことができた。来街者が増加し、新しい会員加盟に繋げていくための基盤づくりができた。
②ポータルサイトの開設 ・ICTを活用し、商店街や地域の魅力を発信したい。 ・関西国際空港からのアクセスも良いため、インバウンド対策として多言語対応を取り入れたい。インバウンド客へもPRしたい。	■ 多言語翻訳機能付きポータルサイトの作成 ・ガイドマップと連動したポータルサイトを作成。 商店会店舗の最新情報や、観光情報を発信し 、商店会の認知向上と回遊促進を図った。 ・ 6か国語 （英語・中国語〈簡体字・繁体字〉・韓国語・フランス語・タイ語）の 翻訳機能を備え 、インバウンド客への対策を構じた。	・サイト開設後1か月で 3,200件のアクセス があった。 ・商店会店舗や近隣住民からの反響は高評価だった。 ・R6年度はHP内の地図や店舗の差し替えを行い、年末に向けてのイベント告知の準備を進めている。ポータルサイトの運用を次世代に継承しつつ、商店会の情報発信ツールとして継続して活用している。

〈商店街のコメント〉
■コロナ禍以後約3年ぶりの商店会活動再開の、最初の活動案件として、モデル創出事業に取り組ませていただきました。3年ぶりの役員会では、デジタルへの取り組みの必要性や具体的な要望が述べられ、当事業である程度要望に応えられたと考えています。以前からの懸案であった商店会のポータルサイトが完成し、今後の商店会の組織力強化や会員間の連携が促進されることを期待したいと思います。また、泉南市や観光協会、和泉砂川駅などと連携し、意見交換をしながら当該事業を進められたことは、商店会として有意義でした。当事業をきっかけに、世代交代、商店会活動の在り方など、将来について模索するきっかけになればと考えます。

〈写真〉  R5年度開設ホームページTOP画面	〈連携・協力〉 ■主催：砂川駅前商店会 ■協力：泉南市、泉南市観光協会、JR和泉砂川駅 ほか 〈HP・SNS等〉 ■大阪府商店街魅力発見サイト「ええやん！大阪商店街」 商店街紹介ページ https://osaka-shotengai-info.com/ss/sunagawaekimae/ ■砂川駅前商店会 公式HP https://osaka-sunagawaekimae.com/
 R5年度作成したガイドマップ	